

# 第 5 回

## 佐世保市地域福祉計画推進委員会

### 会 議 録

日時：平成24年3月19日（月）19：00～

場所：佐世保市中央保健福祉センター 8階 講堂

#### （出席委員）

西委員長、下釜副委員長、岩田委員、阿野委員、永江委員、嬉野委員、櫻井委員、山北委員、迎委員、森委員、車委員、小柳津委員、山下委員

[13名]

#### （事務局）

○佐世保市

保健福祉部長、保健福祉部次長兼保健福祉政策課長、保健福祉部課長補佐、保健福祉政策課企画係長および係員

○佐世保市社会福祉協議会

事務局長、地域福祉課長および課員

**■開会****◆事務局 市**

定刻となりましたので、ただ今から第5回佐世保市地域福祉計画推進委員会を開会いたします。皆様方におかれましては、お忙しい中お集まりいただき誠にありがとうございます。議事に入るまでのしばらくの間、私、保健福祉政策課の中尾が進行役を務めさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

まず、資料の確認をさせていただきたいと思います。机の上に、座席表、委員会の設置要綱、委員名簿、会次第、資料1、資料2、資料3、地域福祉計画今後のスケジュール横表が1枚と、平成24年度佐世保市地域福祉計画推進委員会今後のスケジュール9月までの分、それから長崎新聞の記事が揃ってますでしょうか。もし、資料が不足しておりましたら、予備をご用意しておりますのでお申出ください。

2点目に、情報公開についての確認でございます。皆さまの本日のご発言の内容等につきましては、情報公開の対象として、本市のインターネットホームページ等で公開させていただきますので、あらかじめご了承いただきますようお願いいたします。

それでは、お手元の会次第の1番目になりますが、開会にあたり、事務局を代表して、佐世保市保健福祉部長であります赤瀬より、皆様方へごあいさつ申し上げます。

**1. 保健福祉部長 あいさつ****◆事務局 市**

内容に入ります前に、会議成立の確認をさせていただきます。お手元に置いております「佐世保市地域福祉計画推進委員会 設置要綱」の第6条第3項で、会議の成立のためには、委員の半数以上の出席が必要とされておりますが、本日は15名の委員中、お二人の委員が欠席されておりますが、13名の委員さんにご出席でございますので、会議が成立しておりますことを、ご報告いたします。

それでは、ここで委員長に一言ごあいさつをいただき、引き続き内容の進行をお願いしたいと思います。

委員長、よろしくお願いいたします。

**2. 委員長 あいさつ****3. 議事****●西 委員長**

お手元の会次第にありますように、本日の議題は、平成24年度活動内容、平成24年度における評価方法等、となっております。

議題の1番目が平成24年度活動内容ということですので、事務局から説明をいただいた後、各部会に分かれてそれぞれスケジュールを決めていただくことになると思いますので、事務局の方説明をよろしくお願い致します。

**◆事務局 市**

それでは事務局の方から説明を行います。使います資料は資料1と、地域福祉計画今後のスケジュール（平成23年度～平成25年度）を使います。

まず資料1をご覧ください。来月から平成24年度が始まりますが、大きく5つのことを委員会の方でお願いしたいと考えております。1番目、23年度の事業の評価、24年度の評価の提案、25年度の予算の確認、これは専門部会の方でご議論をいただきたいと考えております。開催の期間といたしましては、平成24年4月から6月までの3ヶ月間で、前回と同じように集中的にご協力いただければと思っております。開催回数は、今のところ2回で出来るのかなと考えております。もし、出来ない場合は予備として3回目を考えております。各回の内容ですが、まず1回目で平成23年度の事業の評価、24年度の事業提案を行っていただきたいと考えております。後程詳しく説明しますので、ここでは割愛しますが、前回今年度の6月に事業の提案を101項目行っていただきましたけれども、これは何回、何を行うということをはっきり記していただきました。そのことについて、では結果として何を何回入れたのか、というところまでを事務局で記入したものを、1回目の部会を開催する前に送付いたします。それを見ていただいて、1回目の会議の中でその評価を行っていただく。詳しくはこの後説明します。それから23年度の実績の隣に、24年度何が必要なのかということ、またご検討いただくというのが1回目の会議。2回目は、一つ一つの各項目の取り組み内容を集約した

基本施策という一つの大きな区切りで評価を行っていただきたいと考えております。それを踏まえて、今度25年度の予算案についての確認もしていただくということです。この1回目2回目の内容については後ほど詳しくご説明します。3回目は予備日ということでございます。※印のところですが、市・社協は、提案された内容について、24年度に実施します。これは、前回6月に提案をいただいたことを今年度6月に同じように行うということです。評価の結果は第6回の委員会、7月くらいを予定しておりますけれども、これが24年度の第1回目の委員会ということになります。6月までに部会を開催して、7月に委員会を開催、そこで成案をしてまた答申と、市長に答申しますと書いておりますが、これはまだ調整段階で、部長になる可能性はあると思います。25年度に必要な予算については、第7回の委員会ですけれども、予算編成の直前です。一旦、6月までの部会の中で見ていただきますけれども、最終的にこの形で予算編成に入っていかという確認をもう一度、第7回で確認をいただきたいと思っております。これが前半の委員会としての取り組みの内容になります。

次に2番目、次期計画の策定方針について第7回の委員会で24年度2回目の委員会になりますけれども、9月くらいを予定しております。次期計画、26年度からスタートします。その次期計画の策定スケジュールの確認です。25年度に作るようになりますので、その25年度に行う策定の手法であるとか、スケジュール案を確定します。委員会において策定する方法についてご議論をいただいて決定いたします。その結果を受けて計画策定に必要な予算を予算編成の中で25年度実際策定し、26年度から次期計画がスタートする、そういうふうな流れになっています。これが2つ目です。

3つ目、25年度における活動の日程調整等ということで、本日行っている会議の来年度版を来年度の3月に行いますということで、大きく3つの委員会を来年度は予定をいたしております。本日は1番目の2回開催する部会の日程調整を行っていただきたいのが1点、その後に具体的な評価の手法、いくつかの様式の説明を行いたいと思っております。事務局からの説明は以上です。

#### ●西 委員長

はい、ありがとうございました。只今、事務局の方から

全体的なスケジュールと、今から部会それぞれ分かれて作業に入っていただくのですが、1回目に行う内容、2回目に行う内容の説明がございましたが、このことについて分科会分かれる前に何かご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

それでは、それぞれの部会に分かれていただいて4月から6月のスケジュールを決めていただきたいと思っております。事務局の方、準備よろしいでしょうか。

#### ◆事務局 市

はい、お手元にお配りしております資料、平成24年度佐世保市地域福祉計画今後のスケジュール9月までの分に、各部会の日付と時間を入れるようになっております。場所はどのようにしましょうか。

#### ●西 委員長

それでは、意識づくり部会が左側、真ん中が地域づくり部会、福推協部会が右側に集まって日程を決めていただけますか。

～ 各部会に分かれて日程決め ～

#### ●西 委員長

事務局の方から取りまとめた分の日程を発表していただけますか。

#### ◆事務局 市

はい、まず、地域づくり部会の1回目、4月24日火曜日。時間が18時から20時。2回目、5月22日火曜日。時間は同じです。3回目、6月19日火曜日、3回目は予備日なので、もし2回目に終わらなかった場合に開催します。

意識づくり部会。1回目、4月13日金曜日。時間は18時から20時。2回目、5月18日金曜日。時間は同じです。3回目はまだ、予定されていません。2回目に終わらなかった場合に考えるということです。

福推協部会1回目、4月16日月曜日。時間は19時から。2回目、5月14日月曜日。時間は同じです。こちらも先ほどと同じで3回目は今のところ予定はされていません。以上です。

#### ●西 委員長

はい。ありがとうございました。では、議題1については、よろしいでしょうか。次に進ませていただきます。議題の2番目であります平成24年度における評価方法等に入りたいと思います。事務局から説明をお願いします。

#### ◆事務局 市

使います資料ですが、資料2、資料3、先ほど申し上げましたとおり、2回の部会の中でこのワークシートを作っていただくこととなります。まず、資料2をご覧いただきたいのですが、この左側の中ほどに前年度ワークシートの実施内容の2がございますけれども、本年度の6月にご提案いただいた内容をそのまま記載することになります。目標値、評価ポイントを設定していただきましたので、それに対する実績はどうだったのかということ事務局の方で記入をいたします。

採点のところですが、「事務局で機械的に点数を出しています」と書いていますが、例えば目標が4回開催しますと言われたことに対して、3回しかできませんでしたとすると75%の達成率ですけれども、その時の配点が20点あったとすると、その20点に75%をかける、そういうふうなやり方です。そういう計算式に基づいて事務局で機械的に出します。但し、その評価が正しいのかどうかは最終的に委員の皆さんに判断をしていただきたいと思っておりますので、機械的に出すところは、事務局の方で行います。

それから、その下の段ですが、前回お話いただいた時にも話があったと思っておりますが、提案いただいた内容以外に事務局の方で必要と思ってやったことについては、ここに記載をいたします。これは、採点には影響はしないということになります。それから、その実施後の課題など、事務局の方で記入をいたしております。その下の(4)の予算化を伴う事業の検討結果という欄は、前年度予算化しますといていたものが、本当に予算化されたかどうかの報告みたいな形になります。上4つの四角のところとその下の評価結果の採点計と判定までは、機械的に入るようになっておりますので、ここまです事務局が入力をした上で、第1回の会議の少なくとも一週間前までには、委員の皆様へ送付したいと考えております。

1回目の会議の中で、事前に資料に目を通して

いただいた上で、このコメントのところに記入をいただきたいと考えています。それぞれ第1回目の会議の時に1項目、1項目、委員の皆様にご意見を言っていただいて、最終的に部会長さんの方に、ここに入れるべきコメントをとりまとめていただいて、その場で確定していくという作業を考えております。

資料3をご覧ください。評価結果、採点計、判定、評価の概要が、資料3の真ん中ほどのところに転記される形になります。ここの転記の作業は事務局で行います。先ほどのコメントを考えていただいた後に、今度は24年度の事業の提案をしていただくわけですが、その提案内容を考えていただいている間に、事務局で打ち直して帰るときにお配りできるような形にしたいと思っております。資料3は、そういうことです。

資料2に戻っていただきまして、この右側、実践ワークシートの24年度の記入方法。ここは前回と同じように、事務局側で23年度の実績を踏まえて、何が必要かと考えたものをあらかじめ記入しておきます。それを、良いのか悪いのかということ、またご議論いただくという形を取りたいと考えています。新しく何かを追加してどんどんやっていこうということにはおそれないのかなと、継続してやっていくという形になるかと思っておりますが、評価方法含めて事務局の方で案を作成し、ここまで記入して1回目の部会の前に送付することにしたと考えております。ここまでは、1回目の部会の中で行っていただく、23年度に対する評価のコメントを考えていただくのが1点。それから、24年度の取り組みの内容が、これでいいのかどうかを確認していただくというのが2点目です。

資料3をご覧くださいなのですが、次に2回目の部会の時に何を行うのかということですが、真ん中のところに先ほど転記したものを1回目の部会の終了時にお配りします。2回目までに内容を見ていただいて、最終的に基本施策の評価のところを行っていきます。一括りでこの「地域福祉の考え方を広げよう」という基本施策が実績と比較してどうだったのかというコメントと判定を考えていただきたいのが2回目です。この基本施策の評価に関しては、先ほどの評価は定量的な評価と言いますか、活動量として達成できたのかどうかということしか見ていませんが、ここは計画と比較し

た時にどうなのかということです。部会の中でも議論になったかと思うのですが、計画が今となってはかなり無理な設定になっています。だから、戻してこういうことはやっていこうという取り組みがあったかと思うのですね、ですから提案した内容に対する実績は100点ということかもしれませんが、計画と比較した時に全然だめだというものの中にはあるかと思えます。それを踏まえて、ここにコメントをしていただくと、「今年度言ったことはよく頑張ったと、しかし計画ではこのようになっていますよと、だから、〇〇でしかありません」みたいなことをここに書いていただくというふうに考えております。この部分については、できれば各委員さんに書いていただいて、それを部会の中で言っていたら、どういうふうにしようかと考えていかないと時間的に厳しいのかなと考えています。

その下の基本施策の判定というところですが、これは、計画に対してどうだったかということABCの3段階で評価いただきたいと考えています。

資料1の3ページをご覧ください。ABC評価になされたのかということについては、このページに書いておりますが、説明は割愛したいと思います。4ページ「地域福祉計画・地域福祉活動計画の達成に向けて計画どおり進んでいる」がA。「達成に向けて重大な改善事項は見当たらない」がB。軽微な改善事項は見られるが計画自体を到達するような改善事項は見られない、概ね進んでいるというのがBです。次に、Cは、「達成に向けて重大な改善事項がある」、早急に改善しないと計画どおりいかないですよというのがCの評価にしていきたいと思えます。

資料3に戻っていただきまして、基本施策の評価、計画と比較した時の評価、その判定を踏まえて、今後の展望を踏まえたコメント、だから今後は何が必要か、そういうところをここに書いていただきたいということでございます。ここが、大きく2回目の内容ということになります。

前回までにお示していただきましたとおり、【様式4】にリーダーチャートを入れております。これは、左側の取り組みを基にそれぞれ視覚的に何が良く頑張れているのか、何が良く頑張れていないのか、強いところ弱いところ視覚的に見れるようにしております。これを踏ま

えて、今の作業を行っていただきたいということです。これが2回目の内容の主なものになります。

資料2をお願いします。右下のほうに、25年度以降に予算化を伴う事業というところでは、前回お話をしておりましたとおり、24年度の提案を今回していただくのですが、前年度の事業を踏まえた予算というのが当年度にはスケジュール的にできません。どうしても自治体予算というのが11月くらいから予算編成が始まる関係で、3月までに終えた事業の結果を見て、その次の翌日から予算に反映させることがちょっと不可能なので翌々年度の予算を見ていくということで前回も説明したかと思えますが、それを踏まえて23年度の事業の評価を踏まえて、25年度、どういった予算が必要なかというところを、私たちが未然に書いておきます。それでいいのかどうかということを確認いただく。従いまして、この2回目の部会で、基本施策の評価を行っていただくということが1点と、25年度に計上すべき予算の確認というのが大きな内容です。経常的に行う事業に関して、予算化しますということは申し上げません。前回みたいに特筆すべき予算、そういったものに限りません。低予算で通常ルーチンでやっていることは当然やっていく、その上で尚必要というものをここにあげていきます。という考え方でお示しをしていきたいと考えております。説明は以上です。

#### ●西 委員長

ただ今の説明で、もう一度、私の方でおさらいしてみよう。

1回目、2回目、先ほどスケジュールを皆様方で調整していただいた分、まず一回目にやる部分が資料2にあります左側の一番下の分(5)の評価結果、ここまでは事務局が全部書き入れて資料が提示されます。そして、第1回目の何日か前に送られてきますので、それを見てそれぞれ各部会の委員さん方が、コメントをいろいろ考えてきていただくと、そして、部会として一番下のところにあります評価の概要とありますが、部会でそれを話し合っていて、まとめたコメントを出していただくというのが、第1回目の一つの目的です。そして、右側にありますけれども、事務局の方で24年度の取り組み案がここに記入されてきますので、

それを見て、24年度の取り組みは本当にこれでいいのかと、そういったものを議論していただいて、1回目の部会はそれで終了するという事です。1回目までの部会の説明はこれでいいですか。

◆事務局 市

はい、それでいいです。

●西 委員長

皆さん方、1回目の分はご理解いただけただしょうか。

\* 委員一同 同意

●西 委員長

2回目については、資料3がございませうけども、資料3の中ほどは、先ほど各部会でコメントを出した部分が真ん中の各取り組みの評価概要というところに、事務局の方で記入されてきますので、それを受けて右側にありますけども、皆さん方がそれぞれ事業について評価した部分と実際の計画とはどういうふうの違いがあるのか、順調にいつているのか、遅れているのか、○か×か△かとか、そういったものを対比していただいて評価をしていただく、それが基本施策の評価というところの段です。そして、その下に基本施策の判定とありますけれども、トータル的に見て資料1の最後の4ページに、先ほど事務局から説明がありましたように、A評価、B評価、C評価、大きくこの3つの評価がありますので、この3つの評価をここに皆さん方の部会でそれぞれ判定をしていただくという事です。これが、大まかに1回目、2回目の作業になります。そして、先ほど最後におっしゃった平成25年度以降の予算化を伴う事業というのは、23年度の事業の中から予算化される分という形の事ですか。

◆事務局 市

それもあります。

●西 委員長

新たに出るというものもあるわけですね。それも2回目の部会の中で、特に出されます。予算化事業の事務局の案について、部会として意見を出すということ

でございます。

以上、1回目と2回目にやるべきことについて、私の方から、もう一度おさらいの形で説明してみましたけれども、皆さん方の方で、ご質問、ご意見がございましたら受けたいと思います。何でも結構です。

●永江 委員

資料3ですが、1回目の終了時に各取り組みの評価概要のところをその場で打ち込んで渡して下さるものを読んで、2回目の部会までに各自でここを記入してきて、それを2回目の部会の中でまた資料2のときと同じようにまとめるのですか。

●西 委員長

そうです。そういうことです。

◆事務局 市

そうです。そのように考えております。

●永江 委員

そして、その下の3段階評価は、2回目の部会の時に部会全体で記入するという事ですね。

●西 委員長

はい。2回目は、上の基本施策の評価は当然皆さん方で議論していただいてまとめて書いていただいた後で、全体的な評価を部会として出すということですよ。

●永江 委員

そうすると、各自で書いてくるのは、基本施策の判定のところは書いてこなくていいのですか。

◆事務局 市

書いてきていただいてもかまいません。

●西 委員長

議論する中身の持ち材料として、自分はAだと思う、Bだと思うとか各委員さんで考えられてもいいですよ。

●永江 委員

時間短縮のためにも、みんなの意見をここに持つてくるということですね。

## ●西 委員長

はい。

## ●永江 委員

ありがとうございました。

## ●西 委員長

他に、ご質問等はありませんか。

言い忘れていましたけれども、資料3で、今後の展望を踏まえたコメントというところを忘れていましたけれども、2回目の中で基本施策の評価とか出していた中で、今後の展望を踏まえたコメントも部会として出していただくという形にもなります。

他にご質問はありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

\*委員一同 同意

## ●西 委員長

それでは、ご意見もございませんので、これで終わりたいと思います。各部会において具体的な協議をお願いするという形になるかと思っておりますので、どうか今後ともよろしくお願ひしたいと思っております。

本日予定されておりました議題はこれで全部終了いたしました。

事務局から何かございませんか。

## ◆事務局 市

1 回目の部会の前に資料をこちらから案内と一緒に送付いたします。

## ●西 委員長

案内と一緒に資料を送るということですね。

## ◆事務局 市

はい。

## ●西 委員長

事務局の方で「地域福祉計画今後のスケジュール(平成23年度～平成25年度)」を配られていますけれども、これは説明する分はないでしょうか。

## ◆事務局 市

最初に私が説明したことの補足的資料で、視覚的に見やすく作っておりました。最初に説明しております

ので、特に説明することはないのですが、25年度のところの第9回推進委員会、ここで論点整理の提示と書いておりますけれども、24年度に策定手法をご承認いただいた場合に、私たちの方で、この専門部会の間を含めて、基本的な考え方をここで示していきたいと考えております。25年度の1回目の委員会の中で、ご承認いただいた後に、部会の再編をしながら計画の本格的な策定作業に入っていきたいと考えております。

## ●西 委員長

なるほど。今の説明は、第9回推進委員会の中で次期計画の今までの論点整理をして、委員の見直しとか、そういったものを含めてこの9回で説明をやるという形ですか。

## ◆事務局 市

そうです。25年度の専門部会に「●●部会」と書いてあるのは、今の専門部会をそのまま引き継ぐというわけではなくて、一定論点整理をした上で再編するということです。

## ●西 委員長

分かりました。

それでは、全ての議事を終了したということで、閉会したいと思います。

どうもありがとうございました。

■ 閉 会